

Tabula rasa

(図書館学生新聞) 第12号

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます！

桜咲く頃、社会へと旅立つ先輩方の背中を胸に私達も、大学生活を有意義に充実したものとしていきましょう。

——とまあ、今回のタブラ・ラサは、『卒業おめでとう号』ということで、卒業する先輩方に贈る本の紹介をしています。勿論、これからの梅光を支えていく私達も必見！の本達もどうぞ☆

大坪睦（日本文学科1年）

Congratulations!
Congratulations!



卒業生も図書館を使えます！



利用証が必要です。利用証カード代 100 円。有効期間は1年で年度ごと更新。貸し出しは2週間、3冊まで。更新不可。その他詳細は図書館まで。開館日などは学院 HP <http://www.baiko.ac.jp> をご覧ください。



梅光学院大学図書館学生新聞

『Tabula rasa』 第12号

発行日：2010年3月15日

編集・発行：梅光学院大学図書館サポーター

卒業生に贈る1冊

図書館サポーターが卒業生の皆さんに贈る一冊。人生に迷った時、仕事に行き詰った時、悲しい時、嬉しい時にお読みください。



◇田中 聖(日本文学科1年)

『**ハビネス**』(嶽本野ばら・小学館)

出会い、別れ、記憶、文化、そして心。読者の考え方1つで、その思い1つ1つで様々な切り口を見つけられる一冊です。心に刺激の欲しい先輩、心に若さの欲しい先輩にオススメです！

◇大坪 陸(日本文学科1年)

『**マイブック 2010年の記録**』(新潮社)

マイブックには日付と曜日しか入っていません——つまりこの本は、私達一人一人が作っていく物語なのです。日記のように書くのもアリ、小説ふうを書くのもアリ。図書館に置けないのが難点ですが、将来に対する不安を真っ白なページに認めてはいかがでしょうか。

◇菰方 紫乃(日本文学科1年)

『**神様のカルテ**』(夏川草介・小学館)

答えはいつも、ここにある。

◇政次 孝憲(英語英文学科1年)

『**しがみつかない生き方-“ふつうの幸せ”を手に入れる10のルール**』

(香山エリ・幻冬舎新書)

この本は非常にたくさんのことを教えてくれます。例えば10のルールの中に“すぐに白黒を付けない”という部分があります。人は誰しも第一印象や見た目などで相手を判断してしまいがちですが、このルールはものごとに対してすぐに決め付け過ぎてはいけないことを教えてくれていると思います。たとえ環境が変わってもこの本とともに新しい世界へ踏み出していける気がしました。著者は精神科医でもあり、人間の根本的な問題を深く追求しています。だからこの本を読めば、人生をもっと楽に生きることのできるような気がします。



卒業生から贈る1冊

卒業していく図書館サポーターから在學生に贈る一冊。みなさんより少しだけ人生の先輩が選んだ本です。今年卒業するサポーターの先輩は、今のサポーターの活動の基礎を築いてくれました。図書館マップの作成、ミニ展示、読書家大賞、等など。図書館キャラクター・ライブラリアン13世をこの世に誕生させたのも先輩方です。

◇今井 美里(日本文学科4年)

『死神の精度』(伊坂幸太郎・文藝春秋)

「死」という重いテーマを取り扱っているのに、読みやすく、優しく温かい話。人の死を1週間で判定する「死神」と彼が出会う人々のお話です。私は雨男な死神のキャラクターが好きでした。そっけなく感じるけれど、どこかユーモアがあって人間味あふれる人物。とくに、ミュージックをこよなく愛するということに人間らしさを感じました。

最後で繋がるというか「仕掛け」がしてあるのも読みどころかなと思います。連作短編なので軽い感じで読めます。あまり読書はしないかなという人でもさらっと読めちゃうかも。課題で忙しくて、最近本を読んでないかな、という学生さんにお勧めしたい1冊です。

◇西山 友梨(日本文学科4年)

『図書館のプロが教える〈調べるコツ〉—誰でも使えるレファレンス・サービス事例集』(浅野高史, かながわレファレンス探検隊・柏書房)

『図書館のプロが伝える調査のツボ』(浅野高史・柏書房)

図書館での調査に役立つ本。これで図書館での調査がはかどる!? きっとレポート作成にも役立つはず♪



◇原 生子(日本文学科4年)

『ブラフマンの埋葬』(小川洋子・講談社)

すばっと、こういうところがいいよ、と言うのは難しいですが、はっきりしないところを楽しむのも良いかもしれません。まったりしたい方、しみりしたい方にお勧めの一冊です。

◇横山 尚枝(日本文学科4年)

『花の下にて春死なむ』(北森鴻・講談社文庫)

ジブリで出てくる料理にときめいた事があるアナタ、どうぞこの本を読んでみて下さい! アナタもきっとピアバー「香菜里屋」の虜になりますよ! そして美味しそうな料理と一緒に「香菜里屋」のマスターが解き明かすミステリーの数々に、ぜひ舌鼓を打って下さい。

◇橋口 安奈(日本文学科3年)

『**小さな王子様**』(サン＝テグジュペリ・光文社古典新訳文庫)

素直な気持ちを忘れないで。

◇浅田 梨沙(日本文学科3年)

『**と、いうはなし**』(著:吉田篤弘/絵:フジモトマサル・筑摩書房)

卒業おめでとうございます。色々辛いこともある日々の合間にホッと一息入れたい時に私がオススメしたいのが、この一冊です。一日の休憩時間に読むにはちょうどいい長さの文は可愛い動物のイラストを元に編まれた内容で、とても癒されます。お気に入りのお茶やお菓子と一緒にどうぞ!

◇坂口 くらら(英米語学科3年)

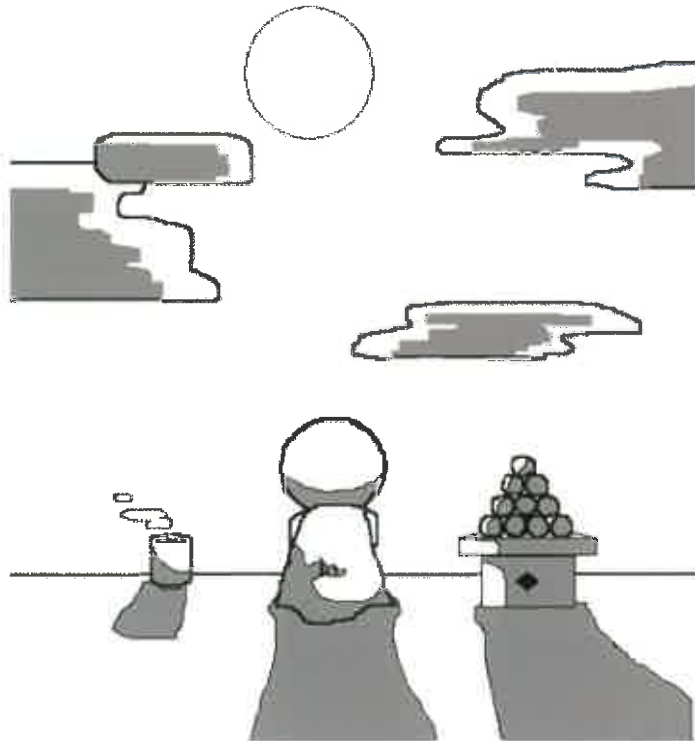
『**トニオ・クレエゲル**』(トーマス・マン・岩波書店)

一度読んでおく価値があると思います。

『**恐るべき子供たち**』(ジャン・コクトー・光文社古典新訳文庫)

軽い感じの文体にも独自の美しさがあります。

本を読み、ふと夜空を見上げる。嗚呼。



人生を考えるライブラリアン13世

ブックハンティング購入本

恒例のブックハンティング(2009年11月、紀伊國屋書店福岡本店にて決行)で購入した本です。図書館サポーターが魂を込めて選んだ本の一部を挙げます。ぜひ読んでみてください。2010年の年明けから2月末まで、サポーターのコーナーにブックハンティング購入本を並べました。本を借りたり立ち止まって読んだりする学生がたくさんいて、人気スポットになっていました。



幻想小品集 / ハピネス	嶽本野ばら
まる、ん?	小泉吉宏
星間商事株式会社社史編纂室/神去なあなあ日常	三浦しをん
二つのドイツ：1945-1990	メアリー・フルブルック：芝健介
「千と千尋」のスピリチュアルな世界	正木晃
ホテル・ルワンダの男	ポール・ルセサバギナ：堀川志野舞
平安貴族の夢分析	倉本一宏
フリーター、家を買う。 / 植物図鑑	有川浩
ラン	森絵都
昭和二十年夏、僕は兵士だった	梯久美子
どうして書くの?：穂村弘対談集	穂村弘
給食番長	よしながこうたく
死刑：人は人を殺せる。でも人は、人を救いたいとも思う	森達也
皇室へのソボクなギモン	竹田恒泰：辛酸なめ子
時間のかかる読書：横光利一『機械』を巡る素晴らしきぐずぐず	宮沢章夫
神様のカルテ	夏川草介
仏像にインタビュー	宮澤やすみ
新世界透明標本	富田伊織
巨匠に教わる絵画の見かた	視覚デザイン研究所
星の王子さま最後の飛行	ジャン・ピエール・ド・ヴィレル： 河野万里子
プチ・フランス：新訳星の王子さま	アントアヌ・ド・サン・テグジュペリ：川上勉
イギリス文学名作と主人公	立野正裕
宵山万華鏡	森見登美彦
圏外へ / つむじ風食堂の夜	吉田篤弘
神話の心理学：現代人の生き方のヒント	河合隼雄
ユキは十七歳特攻で死んだ：子犬よさらば、愛しきいのち	毛利恒之

神々の午睡	あさのあつこ
吉本隆明全マンガ論：表現としてのマンガ・アニメ	吉本隆明
びんぼう神様さま	高草洋子
ほしのはじまり：決定版星新一ショートショート	星新一：新井素子
怖い絵 1～3	中野京子
筆談ホステス	斎藤里恵
蝶々囁々	小川糸
女王様と私（角川文庫）	歌野晶午
愛してるなんていうわけないだろ（中公文庫）	角田光代
終わりのクロニクル 1～7（電撃文庫）	川上稔

その他

NEWS: 活動、注目を集める！

2009年はこちら何年間かの図書館サポーターの活動が認められ、外部から注目を集めた年でした。

- 1 『優良図書館』として山口県図書館協会より表彰される。大学図書館としては初受賞。
- 2 『大学の図書館』（大学図書館問題研究会発行）2009年7月号で、サポーターの活動が紹介される。
- 3 千葉大学教育学部の学生さんの卒業論文で、サポーターの活動や図書館キャラクター・ライブラリアン13世が取り上げられる。



ライブラリアン13世

☆ 編集後記 ☆

あっという間に1年が過ぎていきましたね…。4年生の先輩方、卒業おめでとうございます！タブラ・ラサ12号には、卒業していく先輩方に是非読んでもらいたい本、これからの人生の糧として欲しい本がたくさん詰まっています。社会に出るとなかなか時間がとれないかもしれませんが、1日5分でも読書を続けていってくださいね。そうすればきっと、先輩方のこれからも実り多いものになっていくと思いますよ。

田中聖（日本文学科1年）